

住民サービス向上×行政情報の発信×杉戸宿開宿400年記念 ＝「暮らしの便利帳」官民共同発行！

～杉戸町「暮らしの便利帳」の共同発行に係る協定書調印式が行われました～

杉戸町では、総合振興計画において、～住みごこち100%のまちづくり～を目指す将来像として掲げ進めています。そして、今年には杉戸宿開宿400年を記念し、町民の皆さんが心豊かに暮らせるまちとするため、町の情報を掲載したガイドブック『暮らしの便利帳』を、株式会社サイネックス社との官民協働事業により、発行することとなりました。

そこで、「杉戸町『暮らしの便利帳』共同発行に係る協定」を下記の通り締結しました。

記

■協定締結調印式及び締結概要

1 日時 4月26日（火） 14時～

2 場所 杉戸町役場 第3庁舎2階 応接室

3 出席予定者 【株式会社サイネックス】

代表取締役社長

村田 吉優（むらたよしまさ）

東日本営業本部 本部長代行

稲澤 和宜（いなさわかずよし）

東日本営業本部 部長代行次長

谷奥 康弘（たにおくやすひろ）

埼玉支店 支店長

高橋 学（たかはしまなぶ）

【杉戸町】

町長

古谷 松雄（ふるやまつお）

副町長

坂田 直人（さかたなおと）

秘書広報課長

大島 康夫（おおしまやすお）

秘書広報課主幹

伊塚 武史（いづかたけし）

秘書広報課 広報広聴担当主査

増田 孝之（ますだたかゆき）

4 概要及び事業内容

杉戸町は、株式会社サイネックスと共に、町民サービス向上の手段としてパブリック・プライベート・パートナーシップ（PPP）を事業手法とすることにより、従来の行政情報に加え、医療機関などの地域の情報や事業者の広告を掲載し、実用性の高い便利帳を作成し、町内全域に配布します。

発行部数は21,000部 配布時期は平成28年10月です。

なお、印刷から発行、配布に要する経費は掲載する広告料で賄い、町の負担はございません。

5 コメント

【古谷町長】

現在、当町では民間活力の導入などによる町民と行政のパートナーシップの確立のもと、参画と協働のまちづくりを進めています。こうした中、今回、株式会社サイネックス様との官民協働により、地域・防災・行政・生活などの情報を網羅した、くらしの便利帳が、町の経費負担なしに発行できることは、大変ありがたく思っております。

特に、今年は杉戸宿開宿400年の節目であり、この記念すべき年に、杉戸宿の魅力も盛り込んで、町民の皆さんに情報を届けられることは、住民サービスの向上だけではなく、杉戸町の活性化にもつながるものと大いに期待しております。互いに協力し合い、素晴らしい事業となるよう、よろしくお願いいたします。

6 その他

【添付画像】

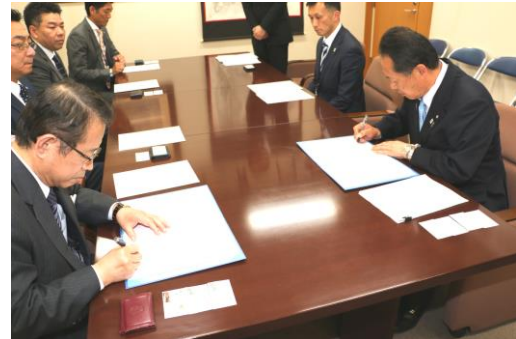
①協定締結に際し一言のべる村田社長



②協定締結に際し一言述べる古谷町長



③協定書の署名・調印A



④協定書の署名・調印B



⑤協定締結で固い握手
(左：古谷町長、右：村田社長)



⑥協定締結 (左：古谷町長、右：村田社長)

